



新館長 就任あいさつ

荒屋健治



この4月に、館長に就任しました。環境にかかわる仕事としては、富山県中央植物園の建設、滑川市の海洋深層水揚水実証実験、日本海の海洋環境の管理にかかる国連機関 NOWPAP 本部の誘致など林業技術畑としては、少し変わった分野に携わってきました。この3月までは、富山県山林協会専務理事と富山県猟友会事務局長を5年間兼任するなど、ねいの里とは浅からぬ縁を感じております。

さて、着任まもなく、能登地方で大きな地震があり、ねいの里、野鳥の園の主要な施設と散策路等の総点検をいたしました。そこで、来園者の安全と安心を確保し、気持ちよく利用してもらうためには、この広大な園地と長大な散策路の保守、点検のための財源と

人的資源の重要性を改めて痛感いたしました。

そのような中、嬉しいことに、先日、ある県内企業の新入社員約30名が自然環境保全ボランティア活動として、ねいの里で帰化植物の除去と散策路へ砂利を敷設してくれました。徒歩で行くしかない山道を、土囊に重い砂利を詰め、何度も運んでくれたおかげで、子供たちの足も泥濘に取られなくなりました。県民の皆様にも愛され、ご支援いただける施設となるよう、思いを新たにいたしました。

また、昨年まで冷暖房施設のなかった展示棟に、昨年度、エアコンが設置され、利用者が快適に過ごせるようになりました。5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類に引き下げられ、制限があった多くの活動が再開されたことから、今まで以上に、多くの方の来園を期待しています。

次の世代を担う子供たちに、この素晴らしい富山の自然に触れ、親しみ、楽しく学んでいただけるよう、また、大人の方々にも自然に関する豊かな知識を身につけていただき、周りの人々やお子さんへ伝えていただけるよう、スタッフ共々、今後とも心がけていきたいと考えております。

ねいの里のトンボたち

トンボというと、秋の赤とんぼをイメージする方も多いと思いますが、夏にもトンボはたくさんいます。むしろ、夏の方が種類も数も多い気がします。

今回は、水辺の生態園で観察できるトンボを中心に、写真と共に紹介します！



←濃い青色で存在感のある、オオシオカラトンボ



↑世界最小のトンボ、ハッチョウトンボ



↑先端が綺麗なオレンジの絶滅危惧種、モートンイトトンボ

↓赤とんぼより赤い、ショウジョウトンボ



↑日本最大のトンボ、オニヤンマ



ホウホウクイズ；今年6月1日から特定外来生物に指定された生き物は何じゃ？ 2種類おろぞ！

外来生物の話②「アメリカザリガニ」

○アメリカザリガニとは

- ・アメリカザリガニ科のザリガニの一種
- ・アメリカ南東部が原産
- ・ウシガエルのエサとして輸入されたが、逃出し繁殖した。
 - 成体の体長は8～20センチ
 - 体色は赤・赤褐色
 - ハサミにたくさんのトゲがある
 - 額にごつごつしたトゲがたくさんある

アメリカザリガニは、エビやカニなどの仲間で甲殻類に分類されます。野生のアメリカザリガニは不衛生な環境に住んでいる場合が多く、寄生虫や食中毒のリスクがあるので、一般家庭での調理は控えましょう。



日本では馴染みのないザリガニ料理ですが、海外では広く食べられていて、味はエビを水っぽくしたような淡泊な味だそうです。

赤色もしくは赤褐色の身体に大きなハサミが特徴ですが、まれに色素異常などの原因による青や白の個体がいる場合もあります。また、エサによっては青いザリガニになることもあるとか・・・



あれ？ ハサミが・・・？

○アメリカザリガニの生態

雑食性で、藻類・水草・魚類・両生類・水生昆虫・動物の死骸などを食べます。田んぼや用水路、池や沼などの水流が穏やかで水深が浅く、底に泥が堆積している環境を好みます。

越冬時期を除いて通年繁殖しますが、主に初夏と初秋に卵を抱えたメスが増えます。一回の産卵で数百～1000個抱卵し、初秋に産卵した個体では卵を抱えたまま越冬することが知られています。

寿命は、4～5年ですが、12年生きた例も有ります。脱皮を繰り返して大人になるまでに2年ほどかかります。



エサの量が少ないと共食いをする恐れがあります。一般的に獰猛な性格なのです。

オスとメスの見分け方として、ハサミの形や大きさを判断する方法がありますが、より正確な見分け方としては、裏返して腹部にある生殖器・生殖口を確認する方法もあります。(左写真)

○特定外来生物に指定されることに

アメリカザリガニは2023年6月1日より条件付特定外来生物*に指定されました。

現在飼っているものを野外に放したり、売買することは禁止です。自力で逃げ出した場合も違法となることがあるので注意しましょう。違反すると罰則・罰金の対象となります。

一方、捕獲・飼育・無償譲渡は可能とする除外規定が設けられています。

*：「条件付特定外来生物」は、特定外来生物に指定された生物のうち、通常の特定期間外生物の規制の一部を当分の間、適用除外とする（規制の一部がかからない）生物の通称です。

除外規定が設けられた理由は、アメリカザリガニは2020年時点で約65万世帯約540万個体が飼育されていると推定されており、従来の特定期間外生物に指定した場合、飼育・譲渡も禁止されるため指定時にこれらが野外に遺棄される可能性が高く、このことが法規制のハードルとなってきました。しかし、アメリカザリガニが希少種の生息地を壊滅させた事例が複数出てきて、これらの未侵入地域や希少種を守るには法規制するしかない、という議論になったわけです。

今、飼育している方がおられたら、くれぐれも外に放つなどしないようにお願いします。

なお、ミシシippアカミミガメも同じ条件付き特定外来生物に指定されました。

ねいの里 行事報告

● (4/9、6/11) ちびっ子自然体験



4/9 ヒキガエルの産卵を見る

4/9 サンショウウオの託児所で、ホクリクサンショウウオの卵嚢とアズマヒキガエルの産卵と卵嚢を見ることができました。貴重な体験に親の方が大はしゃぎ！

6/11 生憎の雨。でも半数以上が来園されました。モリアオガエル観察後、館内で生き物の話で終了、と思いきやそのまま水辺へ。皆、元気だ！



6/11 モリアオガエル観察

● (4/16) ネイチャービンゴで里山散歩 (共催；自然塾の会)

春の息吹を感じながら、自然を活用したビンゴゲームと山菜の採取、試食を行いました！

ビンゴゲームは、葉っぱの形や生き物を見つけるとマスが埋まっていき、参加者の皆さんは協力しながら楽しそうでした！

山菜の採取と試食は、自分達の取った植物を食べられて皆さん大満足！ とても充実した行事でした！



● (5/14) バードウォッチング (共催；富山県、日鳥連)



今回は定員通りの30名の参加でした。

生憎の雨で、ショートコースだけとなりましたが、参加者は鳥の声に一喜一憂しながら、多くの鳥たちのいる森を楽しむことができました。



フムフム。なるほど！！

● (5/21) 野鳥の園で生き物観察

天候に恵まれ、多くの子どもたちとその家族で賑わいました。

出発早々、鳥の声や飛ぶムシなどに熱中し、途中の広場でもワイワイガヤガヤ！ ドングリ橋近くの休憩舎では休憩もそこそこに折り返し。楽しいひと時でした。

自然塾の方にもお手伝いいただきました。



エーッ！
毒があるの？

● (6/24) ヘイケホタル鑑賞会



天候に恵まれ、約100名の参加で実施。オカリナの演奏で集合。最初はホタルの話。これで気分は上々！そして、水辺へ……。ホタルたちは皆をあの光で快く出迎えてくれました。

参加者は思い思いに楽しまれ、雄雌の違いや光り方を観察する人たちもいました。そうやって、幻想的な(?)夜のひと時を過ごしました。

ここ数年、ねいの里のヘイケホタルが減少しています。環境を整備して、ホタルが乱舞する場所になるといいですね。



ねいの里 これからの行事案内

● 7月30日(日) ねいの里の昆虫を調べよう (自然塾枠あり)

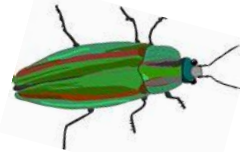
時間: 9:30~12:00

場所: ねいの里

対象者: 小4, 5, 6年生

定員: 30名(保護者含む)

水生庭園で昆虫を観察します。特徴や違いなど詳しく知りたい方にオススメ



● 8月13日(日) ちびっ子自然体験③ (自然塾枠あり)

時間: 10:00~12:00

場所: ねいの里

対象者: 未就学児、小学校低学年

定員: 30名(保護者含む)

水生庭園で生き物を捕まえて観察します。トンボやカエルを捕まえよう



● 9月16日(日) 星空観察と虫の鳴き声を聞こう (自然塾枠あり)

時間: 19:00~21:00

場所: ねいの里

対象者: 一般、親子

定員: 50名程度 参加費: 無料

天文(夜空)の話聞いた後、星空を観察しながら虫の声を聴きます。



● 10月1日(日) キノコ (共催: 自然塾、自然塾枠あり)

時間: 19:00~21:00

場所: ねいの里

対象者: 一般、親子

定員: 50名程度 参加費: 無料



***** <行事への参加希望の方は、ねいの里までお申し込み下さい。> *****
受付期間は、行事実施日の1ヵ月前から1週間になります。

自然塾の会からのお知らせ

行事参加について、会員がお手伝いを前提にいくつかの行事に参加できるようになりました。詳しくは、メール配信しますのでその都度確認してください。

・自然塾の会イベント・・・7/2(日) 遠出して自然散策 (妙高周辺)

■ 特別展示

07/16~08/21 カブト・クワガタ展

08/24~09/25 秋の虫展

09/15~10/30 ねいの里キノコ写真展

◎特別企画展

7/22~9/3 富山の生物多様性について考える

○「ねいの里自然塾の会」会員のナチュラルリスト駐車場利用について

会員の方は、駐車許可証が必要となります。許可証は会員証とともにお届けしますので、利用時は車内の見えるところにおいてください。



発行 富山県自然博物館ねいの里 館長 荒屋 健治

〒939-2632 富山県富山市婦中町吉住1-1

Tel 076-469-5252 / メールアドレス shizen@toyamap.or.jp

ホームページ <http://www.toyamap.or.jp/shizen/>



ホウホウクイズの解答: アメリカザリガニとミシシッピアカミミガメじゃ。記事にも書いてあるぞ。